

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	邦楽
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	かぶしがいいしやきたまえん		
制作団体名	株式会社北前船		
代表者職・氏名	代表取締役社長 洲崎拓郎		団体ウェブサイトURL
			https://www.kodo.or.jp
制作団体所在地	〒	952-0611	最寄駅(バス停)
	新潟県佐渡市小木金田新田148-1		
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
ふりがな	たいこげいのうしゅうだん こどう		
公演団体名	太鼓芸能集団 鼓童		
代表者職・氏名	鼓童代表 船橋裕一郎		団体ウェブサイトURL
			https://www.kodo.or.jp
公演団体所在地	〒	952-0611	最寄駅(バス停)
	新潟県佐渡市小木金田新田148-1		
制作団体 設立年月	昭和56年 2月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役社長 洲崎拓郎 取締役 新井和子、船橋裕一郎、上之山博文、社外取締役 佐藤一行		株式会社北前船社員46名、太鼓芸能集団鼓童正団員34名 鼓童加入条件:2年間の研修、1年間の実地研修、選考をへて正団員になる。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	新井和子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	齋藤美和
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
	kazuko.arai@kodo.or.jp		0259863630

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>株式会社北前船の運営する太鼓芸能集団 鼓童は、太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能や郷土芸能を基盤に、新たな舞台表現の方法を探究する芸能集団である。独自性がありながらも、様々な境界を越えて人々の心に届く良質な作品や楽曲の創造を行い、その成果を日本国内のみならず世界中の人々と共有し、芸術文化の振興に寄与することを目的としている。また、国際交流、教育、医療、地域振興など様々な分野と連携し、「太鼓」のもつ力を、舞台演奏に限らず、広く社会に還元することを目指している。</p> <p>昭和46年9月 「佐渡の國鬼太鼓座」活動を開始。</p> <p>昭和56年2月 「鼓童」に改称。団体の法人格として「株式会社北前船」を設立。</p> <p>昭和63年8月 佐渡市と連携し国際芸術祭「アース・セレブレーション」開催。現在も毎年継続中。</p> <p>平成 9年4月 外郭に財団法人鼓童文化財団を設立(平成23年11月1日より公益財団法人)。</p> <p>平成19年4月 佐渡太鼓体験交流館の鼓童文化財団による委託運営を開始。</p> <p>平成24年4月 歌舞伎俳優の坂東玉三郎が、「鼓童」の芸術監督に就任。(平成28年9月まで)</p> <p>＜受賞歴＞</p> <p>平成6年 「外務大臣表彰」</p> <p>平成6年 フランス・カンヌ「国際音楽産業見本市・映像音楽コンテスト」音楽ビデオ長編部門「最優秀賞」受賞／鼓童「鼓童」</p> <p>平成7年12月 第37回日本レコード大賞特別賞</p> <p>平成24年 「松尾芸能賞優秀邦楽賞」</p> <p>平成29年 総務省「ふるさとづくり大賞 団体表彰(総務大臣賞)」／鼓童文化財団(外郭団体)</p> <p>文化庁「地域文化功労者表彰(芸術文化分野)」／鼓童文化財団(外郭団体)</p> <p>令和5年12月 文化庁「文化庁長官表彰」</p>	
	学校等における公演実績	<p>過去10年分のみ記載</p> <p>令和6年度:24公演(小学校10、中学校4、高校7、支援学校3)</p> <p>令和5年度:50公演(小学校21、中学校25、高校3、支援学校1)</p> <p>令和4年度:54公演(小学校31、中学校6、高校16、支援学校1)</p> <p>令和3年度:74公演(小学校54、中学校10、高校8、支援学校1、聾学校1)</p> <p>令和2年度:43公演 10,161人(幼稚園1、小学校24、中学校12、高校4、支援学校2)</p> <p>令和元年度:52公演 27,400人(保育園2、小学校23、中学校18、高校9)</p> <p>平成30年度:46公演 17,813人(小学校35、中学校4、高校4、支援学校3)</p> <p>平成29年度:74公演 83,360人(保育園2、小学校41、中学校20、高校10、支援学校1)</p> <p>平成28年度:47公演 46,670人(小学校16、中学校13、高校16、支援学校2)</p> <p>平成27年度:71公演 66,490人(小学校44、中学校13、支援学校3、海外11)</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>過去10年分のみ記載</p> <p>以下の単独での支援学校での公演実績に加え、合同鑑賞での実績もあります。</p> <p>令和6年度:小千谷市立総合支援学校、五泉市立特別支援学校、福島県立いわき支援学校</p> <p>令和5年度:新潟県立新潟よつば学園</p> <p>令和4年度:富山県立高岡支援学校中学部</p> <p>令和3年度:長岡市立総合支援学校、愛知県立岡崎聾学校</p> <p>令和2年度:大阪府立大阪北視覚支援学校、滋賀県立野洲養護学校、長岡市立総合支援学校、</p> <p>平成30年度:長野県若槻養護学校、長野県ろう学校、長野県盲学校</p> <p>平成29年度:鳥取大学附属特別支援学校</p> <p>平成27年度:松本市立松本養護学校、鳥取聾学校・盲学校、江南高等特別支援学校 川岸分校</p> <p>平成25年度:長岡療育園、皆生養護学校・鳥取聾学校ひまわり分校、米子養護学校</p> <p>平成24年度:島根県立浜田養護学校</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/mfEGEzG5RA0?si=OsWAdFCYeKiQ1exS	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

一般区分・特別エリア区分共通
No.2(実演芸術)

別添

なし

【公演団体名

太鼓芸能集団 鼓童

】

対象

小学生(低学年)

○

小学生(中学年)

○

小学生(高学年)

○

中学生

○

企画名

鼓童の交流学校公演

企画のねらい

鼓童の交流学校公演を通じ、唯一無二のココロとカラダの体験をしてもらう。
鼓童は新潟県佐渡島を拠点としているが、地理的、文化的に格差があるとされる「離島」から太鼓を通じて世界の人々と繋がること
ができています。本事業を通じ、離島や僻地に育つ子供たちに鼓童のグローバルな世界観を感じてもらい、同時に郷土に対して関心
と愛着を抱くきっかけを与えることをめざす。
鼓童の舞台から日本の伝統的な音風景に触れ、郷里に対する団員の思いを知ること、自らの近くにある祭りや芸能についての関
心を引き起こす。
日本の楽器だけでなく、鼓童が舞台で演奏している世界各地の楽器に実際に触れてみることで、それらが演奏されている国々につ
いて知り、その楽器を活かして作られている楽曲の創造性を体感する。

演目概要・演目選
択理由

1 太鼓演奏(佐渡の自然や風土に培われた感性により団員が作曲した曲や、樹齢数百年の木と牛の革でできた太鼓に、生命の尊
さへの感謝をこめて打ち込む「大太鼓」など、全体で5～6曲)
2 太鼓体験(音を出す、自分や他人の音を聞く、周りと呼吸を合わせる)。言葉を使わないグループコミュニケーションを体験しなが
ら、共感や思いやりなどの感覚を培う。
3 トーク(夢をもって国内外から佐渡に集まってきた団員の自己紹介、日本や世界各地の楽器の紹介、「道具を大事にする」など鼓
童が心がけていること、国内外のツアーや佐渡での暮らしなど)

児童・生徒の参加
または体験の形態

[太鼓演奏]体育館のフロア(舞台下のエリア)および舞台(ある場合)を使用し演奏。児童・生徒は床に直接座って鑑賞する。これに
より音を耳からだけでなく、音の振動を身体全体で感じることができる。
[太鼓体験]太鼓を叩いて音を出す、チームワークのミニゲーム、他人の音を聞く体験、ワークショップで習得した曲(「鼓童の提供楽
曲」)を鼓童団員と一緒に演奏するなど。人数が少ない場合は全員が交代で参加できる構成、多い場合は代表者のみとなるが、そ
れ以外の児童・生徒も見ているだけにならないよう、手拍子などで参加できる内容とする。

児童・生徒の
参加可能人数

本公演

参加・体験人数目安

15名ほどを交代して体験、60名程度

鑑賞人数目安

～200人程度(それ以上は応相談)

本公演演目
原作/作曲
脚本
演出/振付

[太鼓演奏]
大太鼓、鼓童団員作曲の曲(太鼓以外の楽器も紹介できる曲含む)など全体で5～6曲
[太鼓体験]
太鼓を体験し、自分の音、まわりの音、息をあわせる楽しさを感じたあとは、鼓童が2019年から毎年1曲ずつ作曲し、動画にて学
べるように工夫した「鼓童の提供楽曲」を鼓童団員と一緒に演奏する。
[トーク]
楽器を知ること、演奏者を知ること、佐渡や旅を知ること、豊かな感性を育む場とし、演奏をより深く身体と心で感じるためのナビ
ゲートをする。□
公演時間80分(休憩 約10分を含む)□
□
□

公演時間

80

分

出演者

鼓童団員 7名
以下の団員より、出身地など割り当てブロックを考慮して選抜する。1クールでは変更はないが、月によってメンバーの変動の可能性
がある。
中込健太、小松崎正吾、住吉佑太、地代純、三浦康暉、鶴見龍馬、北林玲央、米山水木、小平一誠、前田順康、吉田航大、木村
佑太、三枝晴太、平田裕貴、小野田太陽、詫間俊、定成啓、中谷憧、新山萌、野仲純平、廣寄一馬、小川蓮菜、勝部しずく、木村
優月、高木輝石、田中大成、原田斗嗣

演目の芸術上の中核
となる者(メインキャス
ト、メインスタッフ、指
揮者、芸術監督等)の
個人略歴
※3名程度
※3行程度/名

演出・監修:船橋裕一郎(太鼓芸能集団 鼓童 代表)(公演出演はなし)。2001年より鼓童団員として舞台に参加。2012年より副代
表、2016年1月に代表就任。鼓童の主要な舞台の演出構成を担当。2024年度瓜生山学園賞受賞。
実技指導:阿部好江(太鼓芸能集団 鼓童 副代表)(公演出演はなし)。2002年より鼓童団員として舞台に参加。2009～2010年コン
テンポラリーダンスの鬼オアケラム・カーン氏の作品の世界ツアーに参加、「ローレンス・オリヴィエ賞」および「英国舞台批評家協会
賞」にノミネートされた。
鼓童団員:全員が佐渡の中でもより過疎地の柿野浦集落で2年間の集団生活の中、太鼓、笛、踊り等の修練はもちろん、農業、茶
道、能、陶芸などの体験や地域の祭りに参加することを経て団員となった。

本公演
従事予定者数
(1公演あたり)
※ドライバー等
訪問する業者人
数含む

出演者:

7

名

スタッフ:

2

名

合 計:

9

名

運搬

積載量:

4

t

車 長:

7

m

台 数:

1

台

本公演・ワークショップの内容

本公演・ワークショップの内容	本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安		前日仕込		無	前日仕込所要時間			時間程度
			到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
			8:30	8時30分～10時25分 (ワークショップ:10時40分～12時、内休憩約10分)		13時40分-15時	10分	15時15分～16時15分	16時15分
			※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
	本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。		6月	7月	8月	9月			
			0日	0日	0日	12日			
			10月	11月	12月	1月			
			2日	5日	4日	0日			
			※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	23日		
			特別エリア区分を選択し、午前中ワークショップ、午後本番の1日で完結するプログラムをつくっていますので、午前中のスケジュールは以下のとおりです。 到着:8時30分、仕込み:8時30分～10時25分、ワークショップ:10時40分～12時、内休憩約10分						
		 							
									
		公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真)							
		※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載してください。							
著作権、上演権等の許諾状況		各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当なし	該当コンテンツ名			
		該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況				

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 太鼓芸能集団 鼓童 】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	[トーク]鼓童は世界で高い評価を得ている舞台芸術団体であるが、その紹介だけに終るのでなく、太鼓を通じて世界の人々の心をつなぐという思いや、佐渡に拠点を置いていることの意味、「生活即舞台」、「くらす、まなぶ、つくる」など日ごろ鼓童が大切にしていることを、児童・生徒の年齢に応じてわかりやすく伝え、舞台芸術をきっかけに子どもたちが世界や未来に視野を広げられるように導く。 [太鼓体験]太鼓に親しみ、音を楽しむことを経て、鼓童団員との共演に向けて「鼓童の提供楽曲」を練習する。本番では太鼓の合奏ならではの一体感を分かち合うことをめざす。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	60名程度(小学生の場合は高学年が望ましい)
	ワークショップ実施形態及び内容	<p>[1]鼓童の演奏 まず鼓童の演奏を体感。言葉で説明する前に一つひとつの音の響きと、それらが組み合わさった太鼓音楽の世界を味わってもらおう。</p> <p>[2]トーク 鼓童というグループの紹介、出演している団員の自己紹介、楽器の説明などを通し、従来の概念にとらわれないその活動や、国際性、佐渡の魅力、夢を追うことの素晴らしさを伝える。</p> <p>[3]太鼓体験 3-1) 太鼓に親しみ、音を味わい、その場を楽しむ。 太鼓が心に働きかけるさまざまな効果を体感する(叩けば誰でも音を出すことができる。叩いたぶんだけ大きな音が返ってくる。響きが全身を震わせる。さまざまなリズムに脳が刺激されて心地よさを感じる。)ミニゲームを通じて、他の人が出している音に耳を傾ける。周りの人と心を通わせる。自分を解放する。 3-2) 「鼓童の提供楽曲」を鼓童団員と一緒に練習する。</p>		
	その他ワークショップに関する特記事項等	<p>※「鼓童の提供楽曲」 2019年より鼓童がオンラインで発信しているオリジナルの太鼓のアンサンブル曲集で、YouTubeでの鼓童による演奏映像、無料ダウンロードできる楽譜など、世界の太鼓愛好家が気軽に演奏を楽しめる教材パッケージである(全7曲の楽譜が世界27ヶ国から合計12,000件以上ダウンロードの実績)。本事業の後でもこの「鼓童の提供楽曲」教材で練習することが可能。レガシーとして学校行事などでの披露に繋げることもできる。</p> <p>※太鼓体験の進め方について 今回「特別エリア区分」への申請としたことで、体験と本番を一日で実施、本番の共演の内容について午前中の様子を見て柔軟に対応する。</p> <p>※太鼓体験指導の向上について 鼓童は近年の以下の2つの取り組みを通じ、より多くの子どもたちに鑑賞機会の場を提供し、「伝えること」「太鼓を通して感じてもらうこと」について経験を重ねている。この実績を本事業の参加者に応用していく。</p> <p>1) 「佐渡 両津 鼓童夏の公演」、「佐渡 小木 鼓童秋の公演」 2023年より開催の小会場での連続公演。1回45分。料金は小学生500円、未就学児童無料など。演奏・体験コーナー(2回)・トークで構成。</p> <p>2) 「はじめての鼓童」 未就学児からの子どもを対象とした公演。佐渡では2024年より実施。保育園に出向き、演奏(40分)と子どもたちが太鼓に触れる時間(10-15分)で構成。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名	太鼓芸能集団 鼓童	】
--------	-----------	---

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件	(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
	会場の設置階の制限	2F以上応相談		主幹引き込み電源容量		150 A以上	
	舞台設置面積	間口	15 m		奥行	8 m	
		高さ	0 m				
	舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応	条件が合えば可	
	搬入間口の広さ	幅	2 m		高さ	2 m	
	遮光の要否	遮光要件なし		緞帳の要否		不要	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		要		
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		m以内	
	搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台		
	搬入車両の大きさ	車幅	233 m		車長	7 m	
	備考	・学校までの周辺道路での4トントラックの通行が可能 ・基本フロアとステージの併用としたい。 ・搬入搬出は体育館まで距離があっても対応可能(昇降口から校内を通るなど)だが、搬入物が雨に濡れないよう屋根が必須。					

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

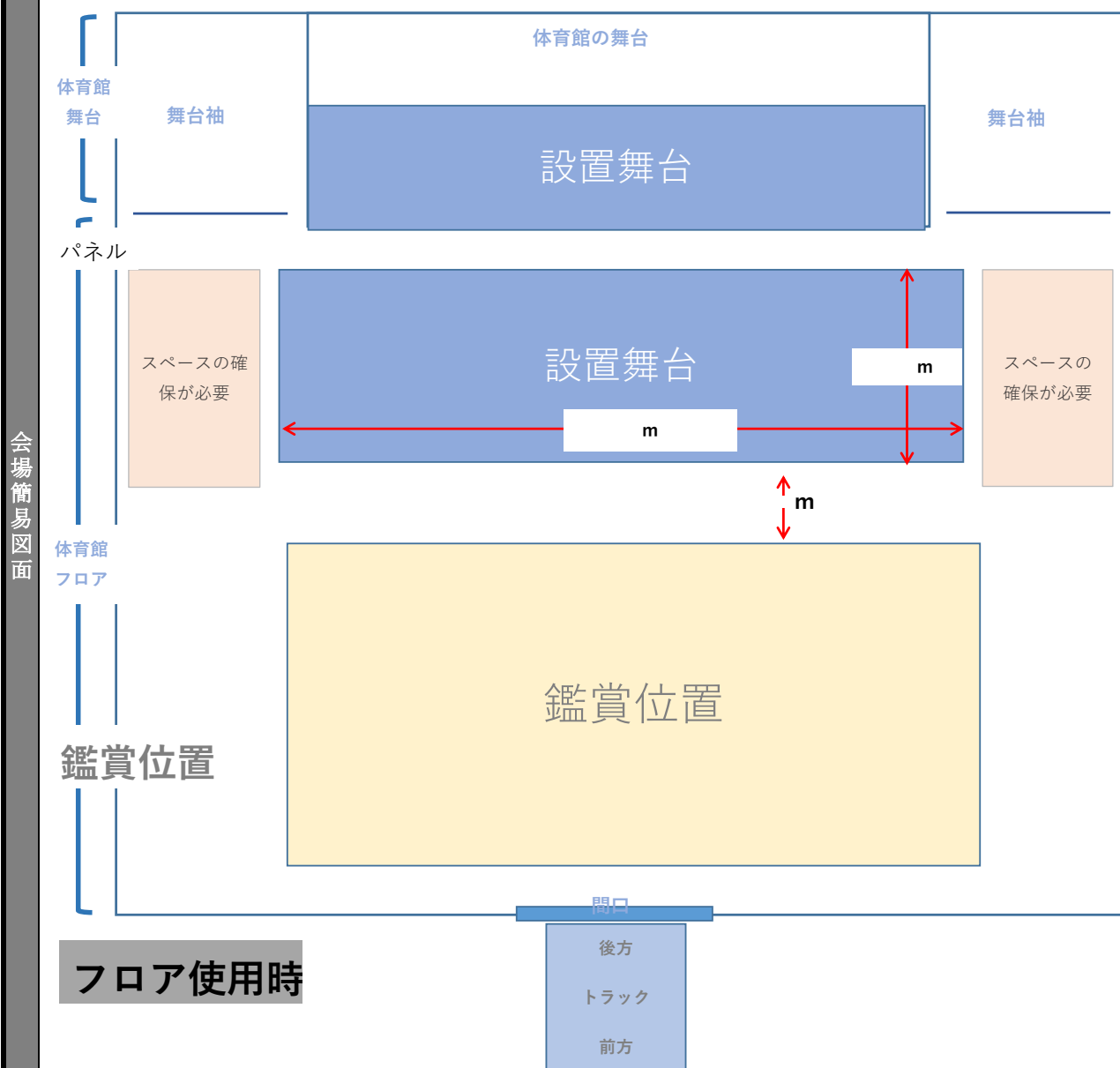
学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
	会場図面の提出要否	要	
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	会場、搬入間口、搬入経路の写真	

時間 外 対 応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演					
	本公演					

個別 確認 事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	当日スケジュールなど	
	2		
	3		

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名

太鼓芸能集団 鼓童

】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

(株)北前船が企画・制作を行っている「太鼓芸能集団 鼓童」は、新潟県の佐渡島に拠点を置き、国内海外の公演ツアーでの演奏に留まらず、太鼓の持つ様々な特性を活かして現代社会に貢献することを目指しています。

今回の事業においては、鼓童が創立以来45年を通じて獲得してきた知識や技量、感性をもって、各地の児童・生徒の皆さんに太鼓演奏を楽しんでもらうだけではなく、グローバルな視点や明日を生きる活力、自己肯定感と仲間との共感、自然や生命への尊さの気持ちに気づいてもらいたいと考えています。それらによって、学校生活が活性化し、より意義深いものとなることを期待しています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

演奏会においては、世界的に評価の高い鼓童の演奏を、児童・生徒の皆さんにはあえてフロアに座って鑑賞してもらうことで、床伝いに響く太鼓の振動を、耳からだけでなく身体全体で感じてもらいます。曲間のトークでは、団員の自己紹介を通して、夢を叶えるために佐渡に渡り研鑽を積んでいる姿を近くで感じ、また演奏に使用している日本や世界各地の楽器に触れて、それらがどのようにして鼓童の楽曲に活かされているのかを知ってもらいます。太鼓のなりたちを学ぶことで、長い人間の歩みに思いを馳せ、それが私たちの暮らしに身近で大切なものだったことを知り、自然や生命を大切にしたいという思いに導いていきます。

さらに太鼓体験では、全員が体験できなくても、手拍子などを使うことで、叩きながら仲間同士との絆を感じ合える時間を提供します。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

助成金担当、スケジュール調整担当、現場同行スタッフ、経理担当が連携、情報共有し、それぞれの不在時にサポートをしあい、連絡が滞らないようにいたします。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

鼓童では、近年MCや体験を交えた佐渡島内での公演を増やしており、一方通行の公演ではなく、お客様の反応をみながら、体験の時間や種類をその場で調整しながら、双方向で一体感のある時間をつくるノウハウをつみあげています。演奏についてはどの対象についても質の高いものをご提供し、MCや体験については、対象に応じたパターンを用意し、当日のライブ中にも反応をみながら微調整していきます。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ワークショップでとりあげる提供楽曲については、全体、パートごとなど丁寧な動画がyoutubeで確認でき、その後の自主稽古などが可能になります。学校行事にむけて、継続的に練習していくなどが可能です。

また、鼓童メールマガジンをご登録いただくと、鼓童の多岐に渡る活動のご連絡を定期的に発信させていただきますので、学校様で興味があることについて、児童、生徒の皆様に情報をご提供いただくことができます。

別添

なし

【公演団体名 太鼓芸能集団 鼓童 】

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

①離島・へき地等における公演実績

令和7年11月6日 第74回全国へき地教育研究大会新潟大会(新潟県長岡市開催)での全体会のアトラクションとして演奏予定

令和7年 新潟県津南町 津南小学校にて 合同鑑賞会 上郷小、芦ヶ崎小

令和6年 新潟県柏崎市立鯖石小学校、新潟県三条市立大浦小学校、
静岡県西伊豆町立西伊豆中学校

令和5年 山口県(合同鑑賞)【島】周防大島町立沖浦小学校、周防大島町立三蒲小学校
周防大島町立安下庄小学校

令和4年 石川県珠洲市立大谷小中学校

令和3年 静岡県阿南市立大下条小学校、岐阜県郡上市立大和第一北小学校、
三重県熊野市立 入鹿中学校・入鹿小学校・飛鳥中学校

令和元年 愛媛県【島】上島町立岩城中学校、上島町立岩城小学校

②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫

【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】

・今回はじめて特別エリア区分に申請するにあたり、1日をかけて、午前中にワークショップ、午後に実演とするプログラムを作成。休憩時間やお昼時間もその場にとどまることで、気負わず言葉をかわせる時間をとることもでき、児童、生徒のみなさんとの関係性が深まるよう、本番以外の時間も大切にする工夫をおこなっている。

【質を保つための工夫】

・音響は学校機材のみを利用(人数が少ない場合はマイクなしも対応可)で進行できるプログラムとし、その中で楽器の設置や人の動き、MCのタイミングや演奏に集中してもらう流れなど、演出を工夫している。

③特別エリア区分応募における、費用面の工夫

・通常の鼓童公演で使用する、屋台などは使わず、体験用の太鼓は最小限とし、舞台演奏用の太鼓も体験で利用するなど、4tトラック一台におさまるように工夫し、運搬費をコンパクトにしている。
・演奏者の移動はハイエース1台とし、個別に移動することでの交通費をかけないようにしている。